

2019 川崎港トライアスロン in 東扇島大会

競技運営マニュアル

【TO用】

第 1.4 版

作成者	武田 広明
作成日	2019年9月13日
更新日	2019年10月4日

目次

2019 川崎港トライアスロン in 東扇島大会	1
目次	2
はじめに	3
集合場所／時間	3
服装／持ち物	3
注意事項	4
1. TOとしての心得	4
2. 緊急時の対応	4
審判団の担当業務	6
1. TO 共通事項	6
2. 審判長	6
3. スイム	7
4. バイク	7
5. ラン	8
6. トランジション	8
7. フィニッシュ	9
競技カテゴリ／距離／タイムスケジュール	10
1. 競技カテゴリ／参加人数／レースナンバー	10
2. 距離／周回数	10
3. タイムスケジュール	11
競技規則(ローカルルール)	12
1. 全般	12
2. スイム	12
3. バイク	12
4. ラン	12
5. トランジション	13
6. フィニッシュ	13
7. その他大会ルール	13
会場レイアウト	14
1. 大会本部周辺レイアウト、選手駐車場	14
2. 大会本部拡大図	15
コース全体図	16
1. キッズ(低学年)	16
2. キッズ(高学年)	17
3. ジュニア(中学生)、トラガール	18
4. エンジョイディスタンス、高校生	19
5. オリンピックディスタンス	20

■略語一覧

TO	テクニカル・オフィシャル(審判員)

はじめに

第12回川崎港トライアスロン in 東扇島兼第5回川崎ジュニアトライアスロン大会の競技運営をお引き受けいただきありがとうございます。選手参加案内と併せて、必ず事前に内容をご確認下さいますようお願いいたします。

技術代表:武田 広明

集合場所/時間

■大会前日 10月5日(土)

- ・時間 :10:00(TL/TD/HR 及び各チーフ、サブチーフ、一部メンバー)
- ・場所 :大会本部前

■大会当日 10月6日(日)

- ・時間 :5:30(TL/TD/HR 及び各チーフ、サブチーフ)
- :6:00(TO)
- ・場所 :大会本部前

遅れる場合は必ずご連絡をお願いいたします。

大会本部(杉浦 真由美) :090-8485-0022
技術代表(武田 広明) :090-8565-7497

■駐車場は、防波堤脇の駐車場1となります。今年は、選手は駐車場2のみとなります。

服装/持ち物

- TO ポロシャツ(白黒)に 黒のスラックスまたは半ズボンを着用。
- サングラスは、色の薄いものは使用を認める。
- ルールブック、TO 資格証、筆記用具は必ず持参すること。
- ホイッスル、イエロー/レッドカードをお持ちの方は持参すること。
- 雨具は透明レインコート等を準備(傘は不可)。

注意事項

1. TO としての心得

- TO は尋ねられる。(毎年周回不足による DSQ が発生。コース/周回数確認を促すこと)
⇒レース開始時間、スイム・バイク・ランの周回数、トイレ・更衣室・コインロッカー等の場所、バイクピックアップ時間等答えられるよう。選手最終案内は必読。
- TO は見られている。
⇒挨拶は率先して行いましょう。TO 一同様々なポイントで丁寧に解り易く競技者に接することを心がけてください。業務以外の写真撮影は禁止です。
- 持ち場で起こり得ることを事前にシミュレーション。
⇒選手が転倒した場合、コースミスをした場合等持ち場で起こり得ることを想定し、対応を考えておく。
- 持ち場のボランティア、警備員と意思の疎通を図る。
- ボランティアの集合時間は7時30分。各パートチーフは、集合場所からボランティアの方々を引率し、配置場所と業務内容の説明をすること。
※ボランティア数42名確定(うちスイム6名、バイク4名、ラン24名、トランジション2名、フィニッシュ6名)
- 競技会場は貸切りではありません。一般の方も利用されます。協力をお願いするというスタンスで一般の方と接してください

2. 緊急時の対応

- 安全は全てに優先します。傷病者を発見したら、他の競技者への2次災害防止にも配慮し、様態の確認傷病者の搬送を行ってください。傷病者が意識／呼吸のない場合は、直ちに119番通報し大会本部へ無線連絡。それ以外の傷病者を発見した場合も、大会本部に連絡しその指示に従って対応してください。無線がない場合は、チーフかサブチーフまで連絡してください。
大会本部(杉浦 真由美) :090-8485-0022

■ 昨年、違法駐車に接触するバイク転倒事故における警察対応例

- ・2周回目に入った第三ウェーブの選手(67歳)が、前方不注意により違法駐車してあったワゴン車後部へ激突しました。幸いにも窓ガラスが大破することにより衝突時の衝撃は吸収され、擦傷程度で済んでいます。
- ・警察現場検証結果、違法駐車とは別事件として選手側に物損事故の損害賠償義務が生じています。
- ・選手が、バイク保険などに加入していない場合、大会主催者側の保険も適用されず、本人金銭負担が生じます。
- ・今年度、警察現場検証が必要な事故が発生した場合、現場には、選手(動くことが可能な場合)、TL 及び TD が立ち会います。HR は、原則、本部待機となります。

■ 地震発生後の津波避難について

- ・東扇島地区は、東京湾臨海部基幹的広域防災拠点に指定されています。そのため、随時、災害対応訓練を行っており、万が一のときの体制は整備されています。津波警報が発令した場合、近くの首都圏臨海防災センター(365日24時間体制)、もしくは川崎マリエンへ避難(選手等誘導)してください。

審判団の担当業務

1. TO 共通事項

■ミーティング関連

- 1) 大会前 TO・ミーティング参加。
- 2) 競技終了後 TO・ミーティング参加、審判結果報告。
- 3) 当日朝の食事の配給はありません。

■運営関連

- 1) 配置に付きましたらコースの設営状況を確認し、必要に応じて競技実施の観点からコーンや案内板などのセッティングをしてください。
- 2) コーン配置案を、各パートチーフより、レイアウト案を先に提出して頂き、その後、全体調整を行い、最終的に決定します。
- 3) TO/ボランティアの昼食については基本的に各パート業務終了後とします。長時間におよぶパート業務(バイク、ラン、トランジション等)スタッフに対する飴等の携帯食持参推奨の旨は各パートOP マニュアルへは記載せず、口頭ベースで当日伝えます。また、スイムパートは、昼食終了後、ランパートと一時的に交替する予定ですが、スムーズに行われるよう事前に具体的な(誰と誰が何時頃)指示を TO/ボランティアへ伝えてください。(ランパートで本人申出により、大会終了後に昼食予定の方は、そのお気持ちを尊重します)
- 4) 次年度大会参考資料として、コーン設置等の写真報告を TO レポートに含め、提出してください。

■競技関連

- 1) 注意／警告等に該当するルール違反選手については、レースナンバーの他に時間と場所を詳細に記録する。審判長に報告し裁定を待つ。
- 2) 計測はアンクルバンドでおこないます。個人の周回確認は自己責任で行うよう回答してください。
- 3) リタイア時の対応は、レースナンバーと氏名を確認しアンクルバンドを回収する。大会本部に無線もしくは携帯でレースナンバーをリタイア理由と共に報告し、のちにアンクルバンドを返却する。
- 4) J TU 競技規則及び、大会ローカルルールに従い競技する。
- 5) 別途、県連合作成中の“大会運営マニュアル”は、今大会直前配布予定のため、フィニッシュパート以外は、参考指針とし、大きく相違ない場合は、既記載事項の修正等はありません。
- 6) パラ選手2名(エンジョイ中山賢史朗氏、オリンピック秋葉茂氏(ブラインド)は、オープン扱いとし、スイム入水時、バイク折り返しなどでの留意事項を全パートで記載共有してください。
- 7) 原則(今大会より推奨)、各パートチーフは、全体を管理・把握、サブチーフは、各種情報伝達等現場での実行リーダーとします。

2. 審判長

- 1) 審判団統括
- 2) TO・ミーティングの招集と統括
- 3) 競技開始前の競技説明
- 4) スターター
- 5) 競技記録の確認及び承認。選手を呼んで直接確認。
- 6) TO・ミーティングでの競技規則違反者裁定(警告／失格)と公表

3. スイム

- 1) 競技開始前の水温・気温計測と報告(8時15分(レース開始1時間前)、掲示板にて計測報告)
- 2) 召集→アンクルバンド配布→ウォーミングアップ→整列→簡易説明→選手同士の握手→スタートの流れを徹底します。(ウォーミングアップエリアは、浜辺広域からの入水をさせないようロープなどを張り、所定の出入口を前日に設置する予定です)
- 3) 入水選手人数確認(計測用アンクルバンド着用の確認)⇒人数確認はカウンターでチェック
- 4) 選手レースナンバー(腕または手の甲)及びスイムキャップ着用確認
- 5) スタート時フライングチェック
- 6) コーナー部ショートカットのコントロール
- 7) 出水選手人数確認(リタイヤ選手、タイムオーバー選手の確認)
- 8) トランジションエリアまでの陸上コース監視(観客のコントロール)
- 9) スイム競技審判

※水中での活動となる前提で、水着、ウェットスーツや、ゴム足袋等を用意する事。

※周回確認の輪ゴムは、アンクルバンド引換時に選手へ2つ渡し、1周回終了ごとに所定のBOXへ外していく方式を、今年度は採用します。

※スイムスタート会場近辺の砂浜に貝殻や浮遊ゴミがあるため、事前に竹ぼうき等で清掃する事。

※キッズ及びジュニア等のコース作りは極力、牡蠣/貝類が少ないエリアを選択する事。

※既存ブイの移動位置は潮位予測ガイド等を精査し、なるべく移動させないコース設営とします。(この方がウォーミングアップエリアも特定させることが出来ます)

※スタート直前の簡易説明終了後、選手たちの高ぶる気持ちを抑制するため、隣同士の握手を促進させてください。(エイエイオーなどの鼓舞は無しとします)

4. バイク

- 1) バイク先導
- 2) 危険個所での選手誘導(厳重の方法検討)
- 3) 危険走行、ドラフティング、キープレフトのチェック
- 4) 体調不良およびリタイア選手の確認
- 5) 最終選手の確認
- 6) バイク競技審判

※先導及び最後尾担当のTOは、バイクとヘルメットを用意すること。

※競技開始前にコース路面状況の確認をお願いします。竹ぼうき等でガラス片やごみの清掃、また危険個所はコーン/テープ等で養生し注意喚起に努めること。

※昨年キッズ高学年のレースの際に、トップ2名に関してコンピュータ周回データとの相違の為、ビデオで周回確認したという事例が発生。可能であればキッズ先頭先導を。

- 7) 試走時間を確保出来るように、設営開始時間を早める(選手の危険個所の事前把握の為)
例)設営完了目標7:45→試走8:00~8:30(選手説明会8:45~)

8)ゾーン2及び3は、全車線幅の3分の2を使用します(4車線のうち3車線の解釈ではありません)、ゾーン1は全車線幅の使用を出来ます。

9)コーンなどの回収時のトラックはマニュアルの可能性ありますので、事前に運転できる方の確認をパート内TOにて行ってください。

5. ラン

- 1) ラン先導
- 2) 選手、観客の誘導
- 3) 折り返し点周回チェック
- 4) 競技選手のレースナンバー表示の注意
- 5) 最終選手の確認
- 6) 体調不良およびリタイア選手の確認(緊急性の無い場合以外、担架など使用しない)
- 7) ラン競技審判

※先導及び最後尾担当の TO は、バイクとヘルメットを用意する事。

※ランコースの海岸芝生エリアは観客と選手が近いため十分注意を促すこと。

※選手が水を飲んだ後の紙コップ回収用の段ボール箱を今年は用意します。選手ひとり一人が“Clean Triathlon”への意識を高めていくよう伝えてください。

※パラ選手は、危険を避ける為、防波堤の狭いコースの代わりにヘリポートを2周回させます。コース分岐近辺の TO は、その旨を他選手含め、誘導させてください。

※前日、ヘリポートと防波堤の距離を計測し、コース設定を行ってください。

6. トランジション

- 1) 選手及び許可者(カメラマンなど)以外のエリア立入禁止
- 2) エリア内でのバイク乗車禁止
- 3) ヘルメットの確認(規定外のヘルメット使用していないか)
- 4) ヘルメット・ストラップの着用チェック
- 5) レースウェア及びレースナンバー表示の注意
- 6) ペットボトル装着チェック(専用ゲージを除く)
- 7) バイク乗車ライン/降車ラインでの注意
- 8) 体調不良、リタイア選手の確認
- 9) リレー部門の選手引き継ぎの監視(クローズ中内でのリレー終了選手の個別誘導)
- 10) バイクピックアップ時のレースナンバー確認

※原則としてトランジション内の出入は選手に限定すること。特にキッズのレースの際に保護者及び応援者の立ち入りを禁ずること。

11) スマホのサイクルメーター使用は、TO 確認・承認の上、認めます。

7. フィニッシュ

- 1) 着順判定(フィニッシュライン上)
- 2) 周回数チェック(輪ゴムの数を確認)
- 3) 「レースナンバーを正面」「サングラスはずす」の指示
- 4) フィニッシュ選手人数/タイムオーバー選手の集計
- 5) アンクルバンドの回収確認
- 6) フィニッシュ後のラインの確保(コーン等で設置)
- 7) 競技終了後のエイドでは、飲料水のみ用意しています(バナナはありません)

競技カテゴリ／距離／タイムスケジュール

1. 競技カテゴリ／参加人数／レースナンバー

カテゴリ	人数		レースナンバー	スイムキャップ
キッズ 1-3 年	49		801 - 849	水色
キッズ 4-6 年	68		901 - 968	黄色
ジュニア	18		751 - 768	ピンク
トラガール	8		701 - 708	水色
高校生	2		501 - 502	ピンク
エンジョイ	53		503 - 555	黄色
エンジョイ・リレー	16 名 6 組		601 - 606	
オリンピック (1W)	386	150	1 - 150	水色
オリンピック (2W)	うちペア	150	151 - 300	ピンク
オリンピック (3W)	18 人 9 組	86	301 - 386	黄色
オリンピック・リレー	65 人 23 組		471 - 493	黄色

2. 距離／周回数

カテゴリ	合計	スイム		バイク		ラン	
キッズ 1-3 年	1.55km	50m	50m 片道 1 本	1km	1km 1 周	500m	500m 1 周
キッズ 4-6 年	3.1km	100m	50m 往復 1 本	2km	1km 2 周	1km	1km 1 周
ジュニア	7.2km	200m	100m 往復 1 本	5km	5km 1 周	2km	2km 1 周
トラガール	7.2km	200m	100m 往復 1 本	5km	5km 1 周	2km	2km 1 周
高校生	25.4km	400m	100m 往復 2 本	20km	5km 4 周	5km	2.5km 2 周
エンジョイ エンジョイ・リレー	25.4km	400m	100m 往復 2 本	20km	5km 4 周	5km	2.5km 2 周
オリンピック オリンピック・リレー	51.5km	1500m	500m 周回 3 周	40km	5km 8 周	10km	2.5km 4 周

3. タイムスケジュール

スケジュール		時間	
大会前 TO・ミーティング		6:00 - 6:15	
会場設営		6:15 - 8:30	
【選手】 駐車場ゲートオープン		7:15	
ボランティアスタッフ集合(パートチーフ引率)		7:30	
【選手】 受付		7:45 - 8:45	
【選手】 キッズ向け選手説明会(日本語・英語)		8:45 - 8:50	
【選手】 開会式/競技説明会(日本語・英語)		8:50 - 9:00	
トランジションチェックイン(キッズ、ジュニア)		7:45 - 8:45	
トランジションチェックイン(キッズ、ジュニア以外) ※キッズ、ジュニア競技中を除く		7:45 - 9:45	
競技		招集	スタート - 終了見込
キッズ 4-6 年(男子)	キッズ 4-6 年(女子)	9:05	9:15 - 9:35
			9:16 - 9:36
キッズ 1-3 年(男子)	キッズ 1-3 年(女子)	9:10	9:25 - 9:42
			9:26 - 9:43
ジュニア	トラガール	9:20	9:35 - 10:10
高校生			
エンジョイディスタンス エンジョイディスタンスリレー	※キッズ～トラガール表彰式	9:45	10:00 - 11:55
オリピックディスタンス(1W)		10:25	10:40 - 14:25
オリピックディスタンス(2W)		10:55	11:10 - 14:55
※キッズ～トラガールバイク引き取り	11:30～12:00(予定)		
オリピックディスタンス(3W)	オリピックディスタンスリレー	11:25	11:40 - 15:25
※高校生～エンジョイバイク引き取り	12:40～13:40(予定)		
※全選手バイク引き取り	14:20～(予定)		
※表彰式・閉会式	15:25 - 15:55		
競技終了後 TO・ミーティング(全体)	15:40(予定)		

競技規則（ローカルルール）

■本大会は(公社)日本トライアスロン連合競技規則および以下のローカルルールが適用されます。

1. 全般

■アクションカメラ(GoPro 等)を着用してレースに出場することはできない。バイクへの装着も不可。

2. スイム

■スイムでは、支給されたスイムキャップを必ず着用(OWS大会は、スイムキャップの配布無し)

■足ひれ、パドル等の推進補助具の使用は禁止

■オリンピックディスタンス(同リレーも含む)では必ずウェットスーツを着用

■危険回避および体調保全のため、コースロープにつかまり小休止するは可能。ただし歩いたりコースロープ等をつかんで勢いをつけるなどは禁止。

■救助を必要とする場合は、競技を停止し、片手を頭の上で振り、声を出して救助を求める。

■スイムスキップはリレー競技のみ許可する

3. バイク

■レースナンバーは背面に表示すること。ずれている場合、見づらい場合等は直させてください。

■前空き前ファスナー付ウェアの着用は可ですが、前ファスナーを下げた状態のまま競技を行うことはできません。発見した場合はファスナーを上げさせてください。

■ヘッドフォンやイヤホンを装着したまま、競技を行うことは禁止されていますので、見つけた場合は、使用しないよう指導してください。

■小中学生の DH バーの装着は禁止。

■バイクは、エイドステーション無し

■ドラフティングゾーンは 10m x 道幅。悪質な場合は審判長に報告して裁定。

■今回バイク試走を設ける(危険箇所事前把握要)。選手への説明は「道路占有許可が…」とする

■スマートフォンのバイクへの取り付け/携帯は不可。

■競技ごとのコース変更の事前確認

4. ラン

■ランでは、上下ともウェアとシューズを着用すること。上下半身とも裸禁止です。発見した場合は着用させてください。

■シューズを履かずに裸足のまま競技することはできませんので、発見した場合はシューズを履かせてください。

■レースナンバーは正面に表示すること。ずれている場合、見づらい場合等は直させてください。

■前空き前ファスナー付ウェアの着用は可ですが、前ファスナーを下げた状態のまま競技を行うことはできません。発見した場合はファスナーを上げさせてください。

■刺青(タトゥー)は、競技中露出させないようウェアで全て隠すよう指導してください。手首まである場合などは、長袖のウェアで隠して競技をさせてください。ワンポイントのタトゥーもテーピング等で見えないように工夫させてください。(選手への参加案内には明記されていませんので出来るだけお願いしてください)

■ヘッドフォンやイヤホンを装着したまま、競技を行うことは禁止されていますので、見つけた場合は、使用しないよう指導してください。

- 競技ごとのコース変更の事前確認
- エイドでの暑さ対策検討(頭水かけ?)
- 浜辺に沿ったコースわきの枯れ枝の養生要→前日確認及び対応

5. トランジション

- ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締め、フィニッシュ後はバイクを掛けてからストラップを外す。
- トランジションエリア内はバイク乗車禁止。
- 選手のバイクが乗車ラインを越えた後に、片足が乗車ラインを越えて着地してから乗車し、選手のバイクが降車ラインの手前において、片足が降車ライン手前に着地してから降車する。
- リレー選手のレース終了後の着替え個別誘導(TO 同行)

6. フィニッシュ

- 着順は、計測チップがフィニッシュライン上に達した瞬間とする。
- ただし、複数の競技者が同時にフィニッシュする場合は、TO が判定をおこなう。(競技者の胴体の一部がフィニッシュラインを通過した瞬間を判定)
- 着順記録はフィニッシュゲートを通過した順にレースナンバーを記録用紙に記載する。
- タイム計測で同時フィニッシュにおける同着タイムがあった場合には着順記録にて着順を確認できることとする。
- リタイアした選手が確認できた場合に同記録用紙にレースナンバーを記載することが望ましい。
- FINISH ラインを通過した選手はその時点で正式タイムとし、いかなる場合も戻ることはできない。
- フィニッシュ後の動線等レイアウト

7. その他大会ルール

- 荷物預かりは車の鍵のみ(大会本部)
- 貴重品預かりは無し
- 基本的には、荷物は個人で管理する。どうしても荷物を置く場所がないと選手から問い合わせがあった時のみ、トランジションの隅の荷物置き場に誘導する。大会側で責任は負えない旨説明する。

会場レイアウト

1. 大会本部周辺レイアウト、選手駐車場



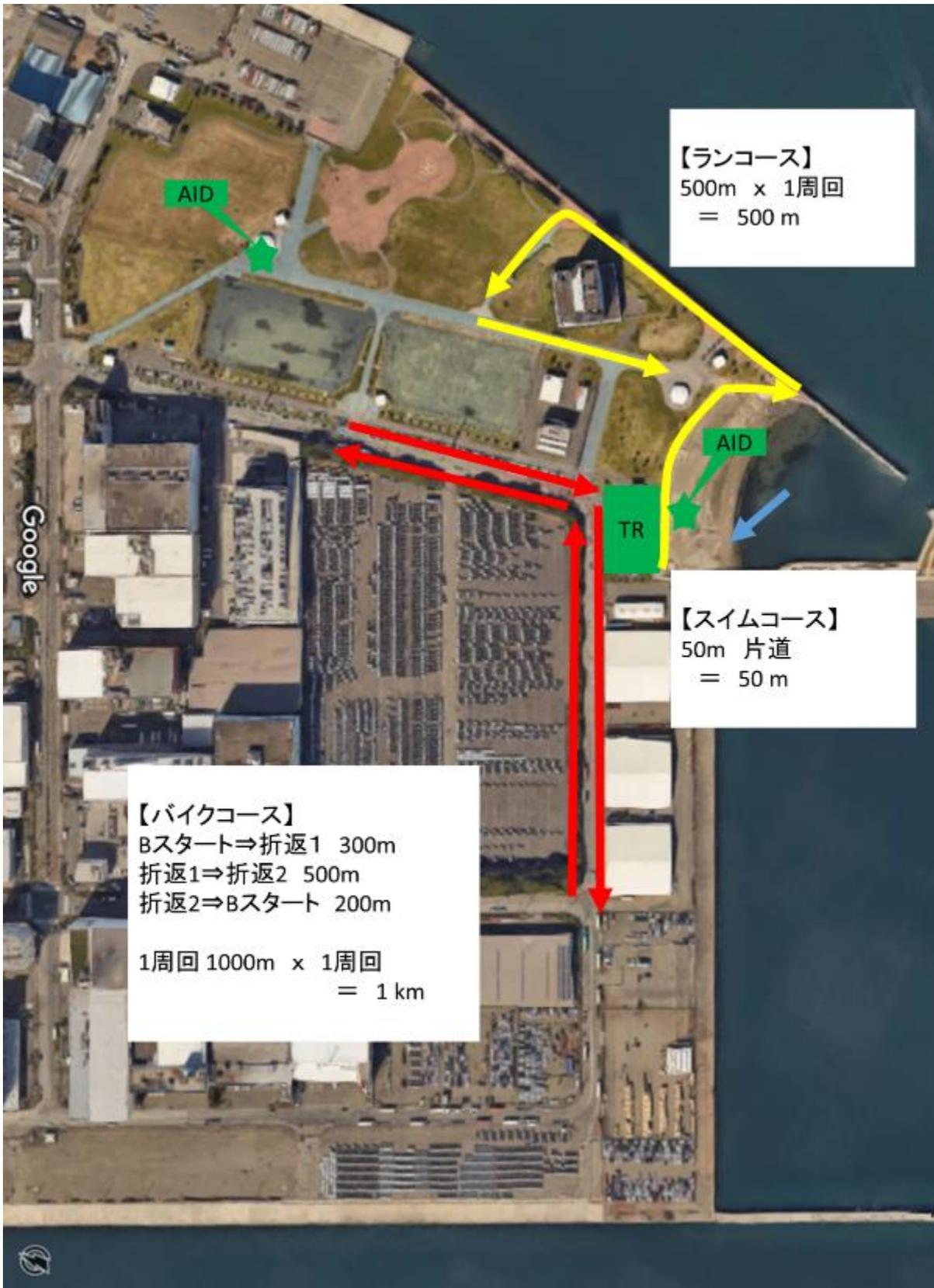
本部レイアウト変更注意！(9/23)

2. 大会本部拡大図



コース全体図

1. キッズ（低学年）



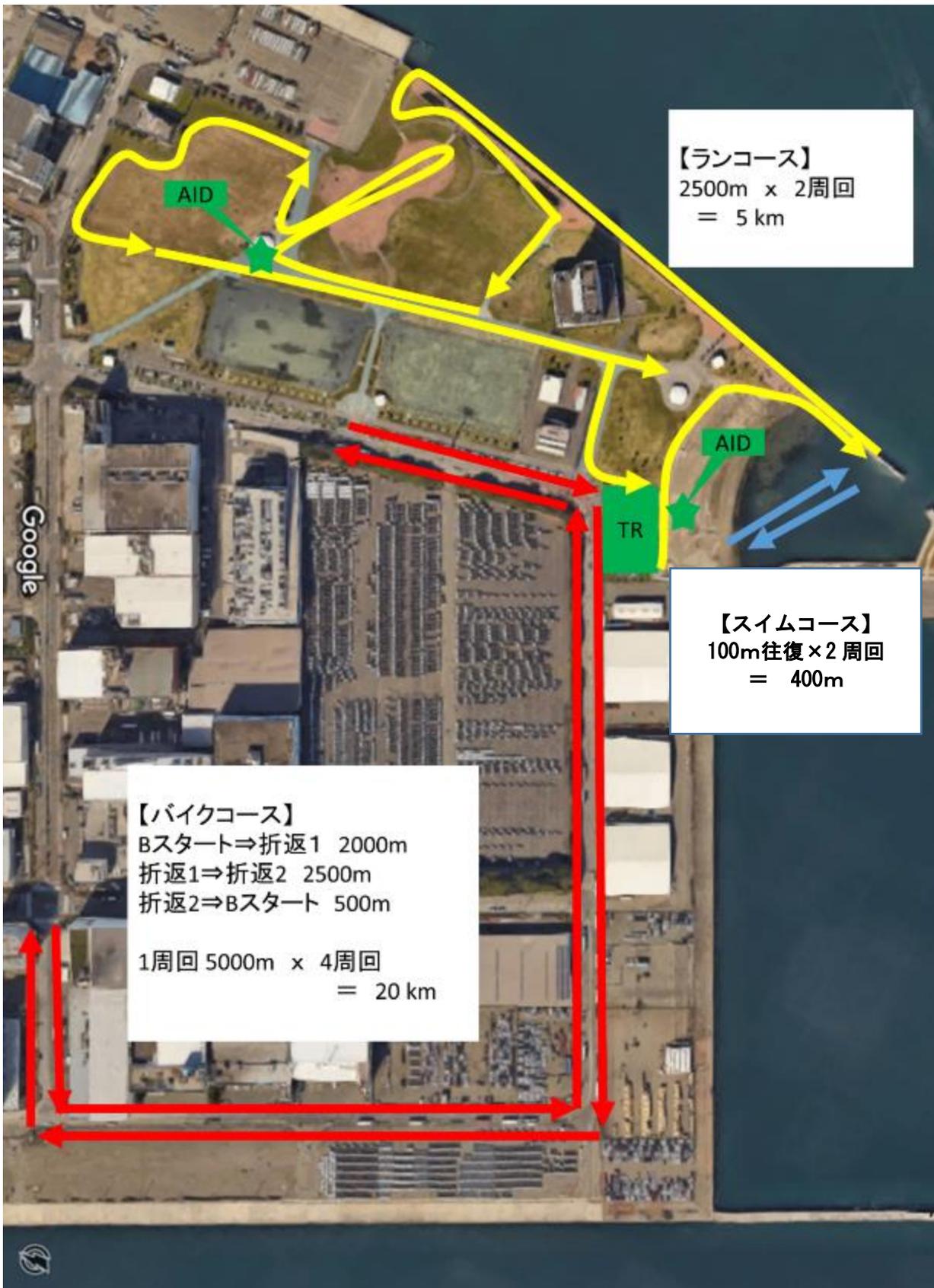
2. キッズ (高学年)



3. ジュニア（中学生）、トラガール



4. エンジョイディスタンス、高校生



5. オリンピックディスタンス

